

出雲神楽について

出雲神楽は古くから旧出雲國一帯で神職によって伝承されてきました。その特色として、神事と能・狂言の影響による「七座」「式三番」「神能」という構成が挙げられます。

皆さんがお馴染みの面を着けている神楽は「神能」に分類され、その起源は江戸時代初期の「佐陀神能」に遡ります。現在のように、民衆が広く神楽を舞うようになったのは明治時代になってからですが、江戸時代中期から既に子どもを含む民衆によって舞われてきたのが「大土地神楽」です。

今回は、出雲神楽を代表する「佐陀神能」と「大土地神楽」について、神事性や娯楽性という部分についても比較しやすいよう、両神楽で同じ演目も上演します。

出雲神楽の歴史と特色を表徴する二つの神楽をぜひお楽しみください。

上演予定

	団 体	演 目
第 1 部 14:00～ 16:30	おおどちかぐら 大土地神楽	あくぎり 悪切 (七座)
	おおどちかぐら 大土地神楽	のみのすくね 野見宿禰 (神能)
	さだしんのう 佐陀神能	ござ 御座 (七座)
	さだしんのう 佐陀神能	さんかん 三韓 (神能)
消毒のため閉鎖となります		
第 2 部 18:00～ 20:30	さだしんのう 佐陀神能	けんまい 剣舞 (七座)
	さだしんのう 佐陀神能	やえがき 八重垣 (神能)
	おおどちかぐら 大土地神楽	ござまい 莫座舞 (七座)
	おおどちかぐら 大土地神楽	やと 八戸 (神能)

●解説 錦田剛志氏 (出雲市文化財保護審議会委員/万九千神社・立虫神社宮司)

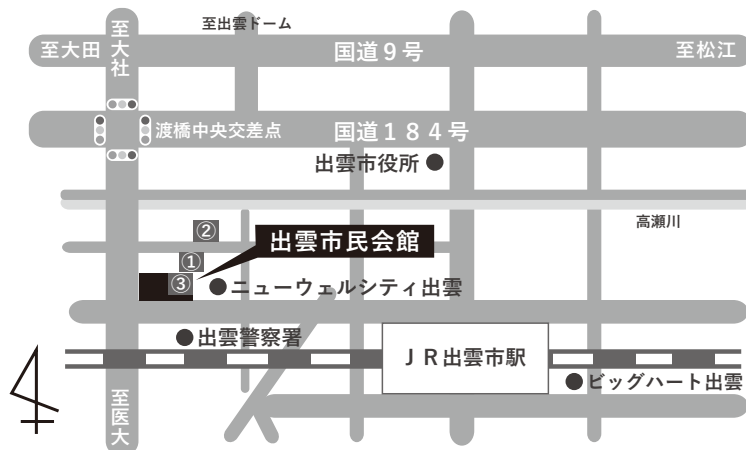
会場・駐車場のご案内

駐車場は、以下をご利用下さい。(無料)

- ①第1駐車場 (約160台)
- ②第2駐車場 (約80台)
- ③障がい者専用駐車場 (4台)

交通案内

J R 出雲市駅より徒歩約17分



会場での主な
新型コロナウイルス感染
対策について

